



JAPAN MISSION PROJECT
全国リレー講演会 第5弾

in **東京**

～ 感動ワクワクの21世紀の生き方が始まる ～

日本から世界を元気に！

開催報告書

日時 : 平成22年3月6日(土)

場所 : 九段会館 大ホール

主催 : NR JAPAN株式会社 JAPAN MISSION PROJECT第5弾実行委員会

実行委員長:金子 純一

協力 : 株式会社クリンピア

目次

1. 東京実行委員長 挨拶 … P 3
2. JAPAN MISSION PROJECT イベント概要 … P 4
3. 広報活動の過程 … P 7
4. JMP 第5弾 プレイベント … P 9
5. 3月6日当日の様相 … P 10
6. 講演内容のポイント … P 14
7. アンケート集計結果 … P 14
8. イベントを通じた波及効果(マスコミへの影響力)… P 15
9. 東京 JAPAN MISSION PROJECT を開催した意味・価値 … P 16
10. 全国リレー講演会、東京開催 次回予定 … P 16

JMP第5弾 東京 実行委員長 挨拶

向春の侯、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また平素から JAPAN MISSION PROJECT にお力添え下さいまして、誠にありがとうございます。

さて、先日3月6日は、あいにくの悪天候にも関わらず、Noh Jesu 講演会「始まる！ JAPAN DREA 時代」へ、大変多くの皆様にご来場いただくことができました。

これも一重に皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

また、ご協力店として早い段階からポスターやチラシなどの設置にご協力いただきました皆様、九段会館のお近くにお住まいの皆様、地元商店の皆様、ご協賛いただきました企業、個人の皆様には、重ねて御礼申し上げます。ならびに、会を陰から支えて下さった実行委員の皆様や、各関係者の皆様、本当にありがとうございました。

多くの皆様のご協力によって、当日のご来場者数は「1029名」という盛会にて終了することができ、JAPAN DREAM 時代の幕開けを実感できた記念すべき日として、深い喜びと感動を感じております。

ご来場の皆様には、お帰りの際も暖かい励ましのお言葉や感動の声、また力強いご賛同の声などを多く頂き、Noh Jesu の「今の絶望の時代に、日本こそがその絶望を大反転させる唯一の希望である！」との言葉を、私自身が再度確認させていただきました。

JAPAN DREAM 時代をスタートさせるキーポイントは“観点の次元上昇”にあります。

それは今の日本が抱えている、「目に見えないものに価値を見出すことができない」一番の弱点を、一気に日本の一番の強みへと大反転させ、「新しい感動パターンを生み出せる人づくり」を世界に誇れるものとすることができます。

同じ時代に生きる私達から、この日本の一番の強みを国家ブランドとして育成しながら、次の世代・未来の子ども達のために、美しい日本、そして美しい世界を共に創っていく感動のムーブメントを札幌へとバトンタッチし、更に全国へと広げていきたいと思っております。

JAPAN MISSION PROJECT は始まったばかりです。

これからも皆様と共に歩いていけることに、誇りと感謝を感じながら、より精力的に活動して参ります。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

JAPAN MISSION PROJECT 第5弾
東京 実行委員長 金子 純一

2. JAPAN MISSION PROJECT イベント概要

- ・日時： 2010年3月6日（土） 13:00-16:00
- ・場所： 九段会館 大ホール
- ・主催： NR JAPAN 株式会社 JAPAN MISSION PROJECT 第5弾 実行委員会
- ・活動経過

【JAPAN MISSION PROJECT】(以下 JMP)は、日本の一番の素晴らしさである『和の精神』を未来産業化する『グローバルビジョン』を全国リレー講演でお伝えするとともに、あらゆる団体・組織が協力しあって共通のビジョンを日本から全世界へ広げていくプロジェクトです。今回の第5弾の全国リレー講演では、『始まる！ JAPAN DREAM 時代』というテーマで講演会を開催いたしました。

そこには、混迷を深める今の時代に、日本に残された可能性とは何なのか？日本は今、どこへ向かって進めばよいのか？を真剣に考える全国の有志が集まり、日本から始まる新しい成長戦略、文化文明の危機をチャンスに大反転させる“代案”を聞こうと、主婦や OL、サラリーマンから、経営者、投資家、国会議員、マスコミ関係者も参加し、実に 1,000 名を超える方々が全国から集まって、その内容に耳を傾けました。

講演会終了後も、懇親会(第一会場、第二会場)に参加した 400 名近い方々が、世界に対して今の時代に発信できる明確なビジョン・価値・夢・生き方の創建と、未来産業・ソーシャルネットワーク構築の必要性を語りました。この JMP を通して多様な人が出会い、交流し、日本の可能性とミッションを理解して、共通の夢と未来へ向かって行ける関係性が構築されていききっかけになれたのは、誠に嬉しい限りでございます。

・JMP 第5弾 協賛者 70件(団体名のみ一部記載 順不同) 協賛金合計:557 万円

株式会社クリンピア	異業種交流会 ほっとかない交流会	オリオンヒーリング アカデミー(今野眞佐子)	一般社団法人 日本 だじょうぶ普及協会	金子不動産
特定非営利活動法人 アジア植林友好協会	やわらかイロプラクティク 整骨院	株式会社東洋神宝	セナ クリニック	関東キタック販売 株式会社
エコモ・インターナショナル 株式会社	(有)ソフィア	禅コーディネート Jinen-Vow	UNITED EARTH	TOHSUI ART
Afgr Heart	アールルネッサンス 株式会社	創業 150 年 京六	太陽クラブ 21	結
卸売市場 CN-BEN	(有)カシマヤ	グローバル通商	M.コンサルティング	吉田真
鴻乃池	原田オフィス	Double-Rainbow	綿雪健康農園	Safty field
株式会社元氣玉	グリーンピア八女	日本サイバネティックス リアルセミナー事務局	NPO 法人社会起業家 ビジネススクール	アテナ・スペース
村田パン工房	JAPAN COMMUNITY PROJECT	レピテーションマネジメント 研究所	黒木三郎	他多数

協賛者からの応援メッセージとお礼

ほっとかない交流会 『厳しい時代、ついつい目先のことと自分のことだけを考えてしまいがち。こんな時代だからこそ、一緒に、でっかい自分になって交流しましょう!! 私たちは、JMP を応援します。』

金子純一 『JMP がこのようにイベントを開催でき、成長できるのは、ご協賛・ご協力くださる皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。これからもぜひ共に日本から世界を元気にしていきましょう!』

・JMP 第5弾 ご協力店 一部掲載 127 店舗 (全 290 店舗)2010.3.6 現在 順不同

JAPAN MISSION PROJECT3.6 東京講演会のポスター掲示・フライヤー設置などでご協力いただいたお店です。

Edy's Café (エディーズカフェ)	カレーと食菜の店 ベル	串鐵(くしてつ)	イタリアン伊酒家 POLPO 飯田橋	ジャンボ
おすし 黒澤	本格炙り 海と大地 楽蔵 飯田橋東口駅前店	SULTAN(スルターン) 飯田橋本店	南欧大食坊 ボンビブール 海	昭和軒
サフラン	ハーテック クリーニング 神保町店	art book shop &Café 1F	珈琲館 専大前本店	上海ダイニング 王家私菜
中華ランチと弁当・ナギ	SOUP DELI	ヴェジタリアン パート2	上海美食 酔仙酒店	天鴻餃子房 神保町2丁目店
ブンケン・ロック・サイド	明文堂書店	中華 徳萬殿	おむすびさが	さぼうる
お食事処 ふらいばん	麵祥来	B-space	Dining Restaurant &Bar AAA	石窯ビストロカフェ Le窯ぞう
スペイン料理 オーレオーレ	山田書店 (浮世絵・古書)	UN QUATRE ～アンキヤトル～	インド&ネパールのレストラン ヒマラヤ	Men's TARO 1 HOMME HAIR
肉屋の正直な食堂 神田神保町店	酔の助(よのすけ) 神保町本店	松本書店 (古本)	スーツセレクト 21 神田神保町店	中野書店 古書部
鳥海書房	中野書店 漫画部	シディーク 神保町店	@ワンダー	リストランテ コッコドリッロ
咲くら 和風居酒屋	清泉堂	アカシヤ書店	おでん 自然 神保町店	自然薯料理 ふじ
神田コリほぐし	牛角	中華そば 成光	さくら水産 九段靖国通り店	春木屋善兵衛
KOREAN DINING しゃら亭	九段 ごち屋	フラミンゴ	京王プレッソイン 九段下	9plancha
ダイニングバー ムンバイ 市ヶ谷店	KANCHANA	和・寿し・中華 「くだん亭」	味の店「千成」	La fiesta
ドトールコーヒーショップ 九段店	小星星	アジアカフェ シディーク	イタリア料理 トルッキオ	炎のチムニー 九段店
インド料理 ムンバイ 九段店	CLUB INDIA SHANTI 西神田店	ヴィラフォンテーヌ 九段下	絶版漫画情報 かんげ書房	タイ料理 ロッディー
SCUGNIZZO !(スクニッコ)	BAN SAEN バンセーン 飯田橋	富士堂 漢方薬局	やきとり串工房	北町商店 飯田橋店
タイの食卓 オールドタイランド	秀蘭	韓国家庭料理&茶 ソウル・ソウル	芭蕉布の里	もち豚・焼酎DINING とんでぼう
らーめん居酒屋 飛龍&がんや	くつろぎの里 庄や 兵左エ門店	海南鶏飯 HAINANCHI-FAN	太陽のトマト麺 水道橋店	水道橋食堂 くいものや じゃぼん
レトロ家	薬ヒグチ 水道橋駅前店	BAR 洋酒堂	鳥どり 水道橋店	中国料理太湖飯店
藤井屋餃子専門店	加賀屋	珈琲舎ロンド	博多もつ鍋 龍	横浜家系 ラーメン田中
北前そば 高田屋 水道橋店	居酒屋そば やす田	梅香園	居酒屋 ひょうたん茶屋	珈琲舎パン 水道橋増田店
ビバ! フレスカ (Viva! Fresca)	カフェ ぱーん せつと (フランス語で 27)	シディークパレス 四谷麴町店	DINING BAR SAMURAIKA	よよぎ整体センター
Lalimar	やわらかイロプラクティック 治療院	渋谷ブランベルホテル 和献洋菜にんにん	ipse(イプセ)	ナワ・ブラサード
有明堂鍼灸整骨院 浜田山店	有明堂鍼灸整骨院 永福町店	帰農庵時代おくれ	和菜 銀座への五	藩士酒房開国論者
お米 café Makiba Style	やさいや 鉄板焼野菜 ベジダイニング 隆(りゅう)	SPIRIT BROTHERS 旬彩旨酒	やさいや 鉄板焼野菜 ベジダイニング 未	ベジダイニング芽 新宿店
BAR 枯れた大人の魅力	FaB HAIR RELATION			

・JMP 東京実行委員メンバー(276名)

2010.2.15 現在 順不同

青木 まどか	赤尾 共子	明坂 昌達	秋葉 典子	阿久津 由香	浅賀 信行
阿部 正弘	阿部 智美	渥美 剛	新井 景	新井 誠	有野 聡子
安藤 晃子	五十畑 初江	池田 朱	池田 雅博	石川 仁木	石塚 雅子
石丸 弘	石山 喜章	一 三火間	一 龍飛	逸見 康成	井上 匠
井上 義浩	今村 真太郎	井村 順子	岩井 俊博	岩井 永江	岩永 絵里子
岩崎 真由	岩田 朝洋	内園 賢	内田 礼	大川 知之	大越 長晴
大下 久夫	大曾根 行男	太田 修平	太田 洋邦	大西 雅子	大野 美佐子
大嶺 里沙	大森 孝	岡村 博子	岡山 未砂	織田 篤志	小野 茂実
折笠 守拙	鹿毛 直子	梶山 圭一	柏葉 直人	加藤 緋登美	加藤 喜大
金森 正治	神岡 進吾	上山 隆央	亀沢 勇樹	川口 由香里	河添 雅子
川名 哲人	川村 知奈美	菅 志津香	菊池 悦子	岸 重光	北出 宗治
木村 博紀	桐木 陽子	桐原 裕子	金城 歩	草薨 展子	口野 理恵
久保 真弓	熊倉 恵子	熊田 健宏	隈部 周作	栗林 賢	黒木 摩利枝
桑野 富美子	小池 拓也	小石 哲郎	小泉 早奈江	合原 咲	小関 智彦
小玉 真一郎	小畑 多美子	小林 安子	小林 美奈子	小林 洋子	小林 良夫
駒田 有紀子	小山 恵子	小山 義仁	今野 真佐子	斉藤 俊介	斎藤 玲子
阪上 暁子	坂部 奈美	坂本 晴子	佐々木 吾朗	定松 俊夫	佐藤 功
佐藤 芽生子	佐藤 良太	塩見 敦子	塩見 典子	塩見 由佳	重永 絵美
篠田 道正	渋谷 高歩	島崎 信也	清水 瞳子	清水 麻由美	首藤 英友
白木 祥子	白鳥 健	進藤 聖子	陣内 絵里奈	菅原 智佳	杉本 絵里
鈴木 久美子	鈴木 史和	須山 紀子	住吉 朋子	関根 悦子	瀬戸 春子
善家 圭	曾田 道德	園田 誠一郎	高江洲 将行	高橋 淳一	高橋 順二
高橋 真菜実	高畑 英一	高松 渡	高柳 邦夫	高柳 陽子	高山 瑞紀
瀧澤 明子	竹内 あかね	多田隈 祐司	多田野 洋子	立花 佐智	田中 ケサ子
谷口 大輔	田端 光	田淵 裕哉	玉榮 奈津美	俵 美恵	丹治 美紀子
千羽 聡史	千羽 秀峰	塚崎 真美	塚本 美知子	月村 瑞恵	辻 直孝
土田 士朗	寺内 万紀子	寺尾 一則	寺尾 祐子	寺澤 善雄	同道 隆之
戸賀 俊行	土岐 直美	戸松 真由子	登坂 幸子	泊 由美子	長井 利加
永池 雅子	中川 一成	中川 真子	中田 恵子	中田 健一	中谷 靖子
長嶋 久美子	中西 幸徳	中山 直樹	永山 勇一	新原 千春	二宮 直人
西尾 明剛	西尾 佳子	西勝 譲	西山 芙蓉	西山 美峰	橋詰 博美
波多江 めぐみ	服部 綾子	濱井 康	濱田 亜耶	原 信子	原 雅美
原田 卓	原田 到子	張ヶ代 美和	日浦 有紀	東田 信也	平井 麻理

平城 めぐみ	平野 善子	広瀬 真友子	廣瀬 友紀	布浦 佑佳	福田 美穂
藤 智子	藤本 直子	藤吉 寛子	舟木 晶子	古田 彩	堀 祥美
堀内 正陽	前山 純子	牧野 三枝子	牧野 未季	牧野 祐子	増子 衣織
松井 宏透	松岡 千春	松岡 裕司	松寄 恭子	松代 朋子	松本 良崇
丸山 桜子	丸山 陽子	三浦 健	水迫 春香	見立 壽継	水戸 英里和
南出 華代	嶺脇 広二	宮川 古都	宮川 剛	宮崎 詳子	宮崎 まき子
宮崎 羊子	宮野 美代子	村田 亜樹	村田 功	村田 優子	村山 耕亮
本村 朗	森川 祐子	森島 亮太	森山 博子	YAKUBU NABI	安木 啓子
矢野 ゆき	山口 詔子	山口 梅風	山口 洋美	山口 禎子	山崎 正
山下 りさ	山田 恭至	山田 純子	山田 太一郎	山田 智之	山田 結城
山本 幸市	山本 有吾	横溝 実紀	吉岡 純平	吉川 健一	吉田 和則
吉田 淳	吉田 芽久美	吉村 真奈美	世永 愛	米田 将司	渡邊 香奈
渡邊 詔史	渡辺 孝典	渡辺 千晶	渡部 明子	渡部 瞳	渡部 美津江

3. 広報活動の過程

① ポスティング・ハンディング

■期間:2009年11月～2010年3月6日

■エリア:九段下、飯田橋、神保町、表参道、水道橋、新橋、目白、新大久保、渋谷、日本武道館周辺、東京ドーム周辺、高田馬場、下落合、中井、世田谷、渋谷

■配布枚数:10万3,000枚

■参加人数:延べ200名

■沢山の応援の声や講演会のお申込みを頂きました。これからも活動を継続していきます。

JMP 実行委員メンバーの活動風景(ハンディング・ポスティング等)



② 協力店募集経過報告(計 290 件)

2009 年 11 月	40 件
2009 年 12 月	96 件
2010 年 1 月	105 件
2010 年 2 月	49 件



③ 実行委員募集経過報告

	開催日	参加人数
第 1 回	11 月 7 日	54 名
第 2 回	12 月 6 日	53 名
第 3 回	1 月 10 日	50 名
第 4 回	1 月 31 日	61 名
第 5 回	2 月 14 日	71 名
第 6 回	3 月 16 日	21 名
第 7 回	4 月 11 日	34 名
第 8 回	5 月 16 日	26 名
第 9 回	6 月 6 日	35 名



実行委員の声

神奈川県 20代 女性

『 こんなにも多様な人々が集まり、共通のビジョンに向かって協力している場があるんだ！ってホント感動しました。ここが日本の希望だと思います♪ あと、格式ある会場で受付をできたのも楽しい体験でした。仲間ができるのって、いいですね～。』

東京都 30代 男性

『 今回は、初めて協賛のリーダーを担当させて頂いたのですが、NPO のボランティアなどと違って、みんなのフォローシップの素晴らしさを体感できました。こんなに相手に立場チェンジしたコミュニケーションが当たり前になっている所は珍しいと思います。お陰さまで新しい仲間や友人が増え、自分自身も随分と成長させて貰いました。本当にありがとうございます！』

埼玉県 50代 男性

『 新しい成長戦略が求められている今、明確な代案を打ち出そうとされている姿勢に共感し、また元気な若者が非常に多いことにも感動致しました。この時期に 1,000 人を集められたことは、とても意義深いことと感じます。日本の未来の為に、このムーブメントの発展を願っております。』

4. JMP 第5弾 プレイベント

Noh Jesu × 梅澤 千雅子 講演会 『 生存の苦悩から生命の歓喜へ 』

- ・日時： 2009 年 12 月 5 日(土) 13:00-17:00
- ・場所： KDDI HALL (千代田区大手町 1-8 KDDI ビル 2F)
- ・参加者： 講演会 167 人、懇親会 74 人



ゲストプロフィール： 梅澤 千雅子(ウメザワ チカコ)

大阪府出身。1988 年リュウマチと診断され、1997 年には一休の身体障害者に認定。人生を絶望して死を覚悟した時期もあったが、あるきっかけで心の扉の開き方をつかみ、自らの可能性に目覚めて無限化の可能性を見出す。両手両足機能全廃というハンデの中、2001 年高野山画僧、藤原祐寛師に師事、日本画壇入門。2002 年 4 月、初の作品展開催と高野山にて僧名「雅照」を得度。

同年 5 月、第 5 回京都墨彩画展出展、「虚空へ」で特選受賞。その後各地で個展を開催し、日本画壇新進作家として注目されるが、2005 年事故により右肘粉碎骨折で、手術後も二度と絵筆をもつことができないと宣告され日本画壇への夢を断念する。その後 4 年の歳月を経て、2009 年 4 月に時の流れと共に移りゆく絵画“アール・グラージュ”との衝撃的な出会いに感動！同時に自らの心までも癒されるのを感じて、再びアールルネッサンス(株)代表 中埜氏プロデュースのもと 2009 年 8 月『命の夜明け』を発表。

日本人としての魂を深く感じさせる作品として好評を得る。現在、意欲的に作品制作に取り組むとともに、全国講演活動も積極的に行い、多忙な毎日を過ごしている。

5. 3月6日 当日の様

【講演会】九段会館 大ホール 参加者:1,029名



① 会場の風景



② 全国実行委員長 内海昭徳
「危機をチャンスに大反転させたい」



③ 東京実行委員長 金子純一
「日本の使命を、伝えたい！」



④ 始まる！JAPAN DREAM 時代 (Noh Jesu)



⑤ JAPAN MISSION を熱く語る Noh Jesu



⑥ ミッション・シンガー 中川真子
「Awakening all of the soul」



⑦ JMP 第 6 弾、第 7 弾の実行委員長
(左から)西尾明剛、塚本美知子、大川知之

【 講演会参加者の声 】

中島 克紀 53 歳 講師

『 ノさんの熱き思いと謙虚さとのギャップが、たまらない魅力ですね。

日本人として、日本の使命を感じて、21 世紀の日本のビジョンを考え直したい。 』

楠見ひとみ 44 歳 会社員

『 ノさんの本気の心が伝わって来て、聴いているこちらでも熱くなりました。日本人の意識・認識が変われば、世界も変わる。すばらしい平和な世界のイメージが広がりました。ありがとうございます!! 』

中村涼人 20 歳 フリーター

『 今の日本、世界、地球、すべての問題を生み出している原因を明確に示し、それを突破できる代案を持っているのなら、誰もがこのムーブメントに参加したいと思う。やりたい事がミッションにつながるって素敵ですね。 』

男性 29 歳 教員

『 とても興味が沸きました。書籍を購入したので早速読んでみようと思います。 』

女性 44 歳 主婦

『 この日本で生まれた私、1 億 3,000 分の 1 の存在だけど、一人の認識革命、意識を変えることで世界が変わる..そんな思いが胸に深く深く沁みわたりました。

今日は沖縄からこの日の為に来ました。来て良かったです。本当にありがとうございました。』

津田直毅 24 歳

『 明治維新以上の変革の時代を、今、まさに迎えていることと、

その変革の主人公が僕ら一人一人であることに魂を動かされた。』

大串美佐子 62 歳

『 Noh さんの熱意がとてもビンビン伝わって来ました。

日本の大事な心、日本の最もよい点を私達日本人に教えて下さいました。感謝します。

一緒に頑張りたいと思います。』

田中淳一 35 歳

『 2 回目の講演会参加でしたが、前回よりも深く話の内容を理解できたと思います。

大変素晴らしいものでした。』

女性 29 再 会社員

『 やっぱり日本には、まだまだ可能性がある。

自分がやりたい事、何のために生きるのか、ちゃんと考えたいです。』

花見一也 26 歳 合同会社 irodori CEO

『 情熱。想いの強さに心動きました。自分を信じて動く、自分から始めることの大切さを改めて感じました。』

平川千秋 37 歳

『 熱い思いを感じました。感謝いたします。これからも一緒に繋がって行きます。』

【懇親会】九段会館 真珠の間 参加者141名



JMP 全国実行委員長と各地域の JMP 実行委員長たち



東京実行委員長 金子純一より挨拶



JAPAN DREAM への熱き思いを語る内海昭徳



実行委員・協力店・協賛者の皆様と交流



想いを継ぐ各地の実行委員長たち



なごやかな懇親会の様子



行徳哲男先生より『書』のプレゼント



NohJesu より感謝の挨拶

行徳哲男先生よりメッセージ

Noh 先生、今から 80 年前に日本を訪れたアインシュタインが残した言葉です。

「人類は進むべく進んで、その間に幾度も闘争を繰り返す。そのうち人類は闘争に疲れ果てる時が来る。その時人類は真の平和を求めて、世界の盟主を揚げなければならない。その盟主とは、武器や金の力ではなく、あらゆる国の歴史を越えた最も古くて最も尊い家柄でなければならない。アジアに始まってアジアに帰る。それはアジアの最高峰、日本に立ち戻らねばならない。我々は神に感謝する。我々に神が日本という尊い国を作っておいてくれた事に」と。

Noh 先生、共に手を握って、世界の平和のために頑張りましょう！

6. 講演内容のポイント

講演者Noh Jesulは、日本文明の素晴らしさには人間の素晴らしさが全部入っており、そのキーワードは『危機をチャンスに大反転させる粘り続ける姿勢である』と語りました。

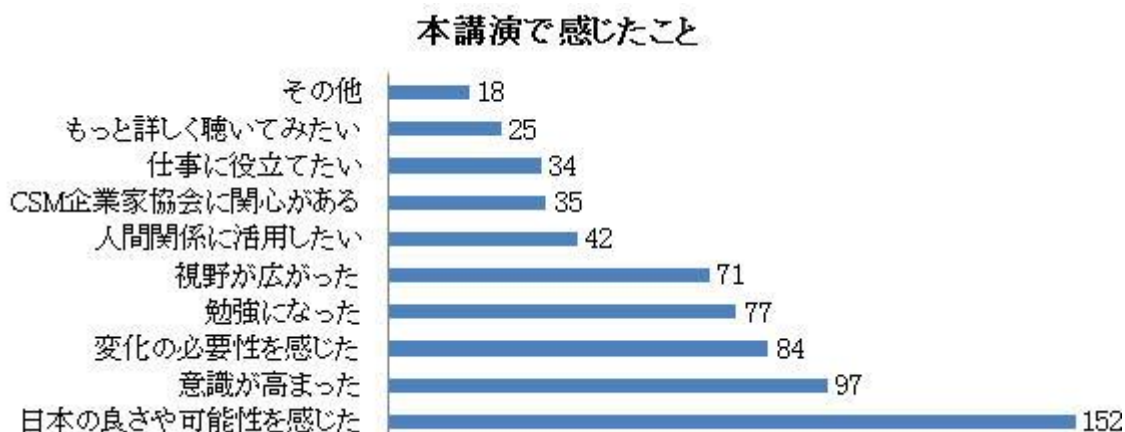
日本文明の底力である「侍の出会い」の世界は、仏教の悟りを超え、死を恐れずに『自分の身を切らせて骨を断つ』繊細で細密さだといえます。その意味は判断基準をゼロ化させることであり、ゼロベース思考で相手の観念に移動ができる自由でやわらかい認識方式を得る意味でもあり、八百万・七福神のやわらかい「心の文明」が成り立つことでもあります。

人間の一番の素晴らしさ、日本の一番の素晴らしさ、東京の一番の素晴らしさを、今ここで応用・活用できる知識・技術を商品化・ビジネス化・産業化するチャンスと出会うことになる可能性を力強く語りました。

それと危機の現在地を隠さず、マスコミが積極的に国民に公開することで日本の文明の底力である危機をチャンスに大反転させる日本の独特な力が発揮できると語りました。

7. アンケート集計結果

今回のJMP第5弾アンケートを集計した結果は、「大変よかった」と「よかった」を合わせて92%と非常に高い評価をいただきました。本講演で感じたこと第1位は「日本の良さや可能性を感じた」、続いて「意識が高まった」、「変化の必要性を感じた」など、とても多くの方々が気づき・感動を感じていらっしゃいます。



8. イベントを通じた波及効果(マスコミへの影響力)

JMP 第 5 弾(2010/3/6)の講演会にて、参加者の国会議員やマスコミ関係者に向けて、「今、どこにフォーカスを当てるのか？日本全体の意識をどこに向けるのか？」が重要。正しい問題意識を持たねば、皆知らぬ間に国は滅びてゆく」と講演、「もし日本が潰れたら、マスコミが責任を取るべきだ！」と喝破。翌日(3/7)の朝日新聞を皮切りに、数多の新聞・雑誌上で“国家破綻”に関する話題がオープンになり、日本の行く末にかかる議論に一石を投じました。



上: [日経ビジネス] 2010年7月12日号
右: [朝日新聞 朝刊] 2010年3月7日付



3月6日 JMP 第5弾 開催 「マスコミは国家破綻の現実に目を向けるべき」と講演

3月7日 朝日新聞 朝刊 一面、三面に「国家破産」の記事掲載 日本破綻に警鐘

3月10日 日本経済新聞で「未来面」スタートの告知 日本の希望を集め始める

3月15日 日本経済新聞 本社コラム「核心」にて国家破綻に警鐘を鳴らす

3月25日 日本経済新聞 一面 破綻懸念の21市町村を公表

3月29日 プレジデント 「国債暴落で、銀行預金がデフォルトする日」掲載

4月7日 週刊現代 四月十七日号 特集「日本経済はこのまま死ぬのか」

以後、日本の“国家破綻”は報道におけるタブーから一般常識へ変化。新聞、雑誌、TV、ラジオ等でオープンに議論される話題となり、新しい成長戦略にフォーカスが求められる雰囲気。

7月12日 日経ビジネス 7月12日号 「日本倒産」を特集

9. 東京 JAPAN MISSION PROJECT を開催した意味・価値

現代は多様で複雑な危機や問題が世界全体に波及しており、私たち日本そして東京を取り巻く状況も、もちろん例外ではありません。未来に対する不安心理はますます深く広がっていきばかりです。このような危機をチャンスに大反転させ、希望溢れる未来を作っていくために必要なものとは何でしょうか。それは「正しい問題意識」を持つことです。

私たちは世界経済危機の現在地を多くの人たちに伝達し、そして共有することによって、希望ある未来を切りひらく為の種を植えることができたと確信しております。日本から世界を元気にしていく第一歩として大きな意味のある講演会だったと思います。

全国から同じ志を持つもの同士が集まり、東京の方々との交流を持つことによって幅広いネットワークが構築され人間関係の活性化にも貢献できました。

そして、JAPAN MISSION は、パラダイム転換を成功させた東京の特徴を生かし、いまの時代の危機をチャンスに大変転させる東京地域の MISSION に目覚めさせるように貢献出来たことを確信しております。

10. 全国リレー講演会、東京開催 次回予定

2011年5月下旬 東京都内 定員2,000名(予定)

※参加人数により日程・場所が変更になる可能性があります。

◆次回に向けて下記の募集を行っております。

- ① 実行委員募集…JMPに賛同して、一緒に創っていただける方
- ② 協賛募集…JMPを資金面からバックアップしてくれる方(団体含む)
- ③ 協力店募集…自分の店舗や事務所を使って、JMPの告知活動をさせていただけるお店

お申込・お問合わせ先

JAPAN MISSION PROJECT 全国事務局

東京都渋谷区桜丘町13-9 クリエイト桜丘センチュリー21

TEL:03-3770-5399 FAX:03-3462-5134 EMAIL:jmp@nr-japan.co.jp

URL: <http://www.japanmission.jp/>